

第6回

アクティビティ・ケア 実践フォーラム



認知症高齢者・障がい者の
その人らしさを大切に
する
アクティビティ・ケア

【日程】2016年3月26日(土)・27日(日)

《1日目》13:00~17:10 (受付開始12:30)

《交流会》17:30~19:30

《2日目》10:00~16:00 (受付開始 9:30)

【会場】立教大学・池袋キャンパス (東京都豊島区池袋)

【定員】300名

【参加費】《会員》2日間:4,000円 1日のみ:3,000円

《一般》2日間:6,000円 1日のみ:4,000円

《学生》2日間:3,000円 1日のみ:2,000円

《交流会参加費》3,500円

※単位取得が可能です 日本認知症ケア学会「認知症ケア専門士」2日間参加で3単位付与
作業療法士協会 SIG認定「基礎ポイント」1日1ポイント/2日間参加で2ポイント付与

【会場案内】
立教大学
池袋キャンパス 11号館
《交流会》第一食堂2階
〒171-8501
東京都豊島区西池袋3-34-1
JR各線・東武東上線・西武池袋線・
東京メトロ丸ノ内線/有楽町線/
副都心線「池袋駅」下車。
西口より徒歩約7分。



高齢者アクティビティ開発センター

〒165-0026 東京都中野区新井2-12-10 芸術教育研究所内 (金・日曜日、祝日以外の10:00~17:30)
TEL 03-3387-5461 FAX 03-3228-0699 URL <http://www.aptycare.com/> E-mail aptc@aptycare.com

主催：高齢者アクティビティ開発センター 共催：立教大学社会福祉研究所
後援：一般財団法人 日本認知症ケア学会 一般財団法人 日本作業療法士協会
協力：芸術教育研究所 認定NPO法人 日本グッド・トイ委員会 東京おもちゃ美術館

実践フォーラム特設Facebookページ
<http://www.facebook.com/activityforum>

協賛：(株)ミライカ (株)サカタのタネ

第6回アクティビティ・ケア実践フォーラムの開催に向けて

この「アクティビティ・ケア実践フォーラム」は、高齢者や障がい者への生活から活動まで多岐にわたるケアの実践法と今後の方向性について、発表者と参加者が共に考え合うことを目的としています。

団塊の世代の高齢化を受け、介護予防が社会的急務となっていることをはじめ、高齢者福祉の世界は今、大きな転換点を迎えています。ご利用者一人ひとりの多様な人生歴や生活様式に沿ったアクティビティ・ケアは、今後ますます必要とされるでしょう。

そこで今回はケアデザインのプロフェッショナル・綿祐二氏と、介護ジャーナリストとしてご活躍の小山朝子氏からご講演いただくほか、実践家による活動報告や、バラエティー豊かな分科会を通して、その人らしさを大切にすアクティビティ・ケアとはどのようなものかを共に考えたいと思います。みなさまふるってご参加ください。

高齢者アクティビティ開発センター 代表 多田 千尋

【1日目】 3月26日(土) 11号館 受付：1階

13:00 基調提案 「アクティビティ・ケアの必要性」

高齢者・障がい者のQOLの向上を目指して

多田千尋 (高齢者アクティビティ開発センター代表)



多田千尋

早稲田大学で福祉文化論を、お茶の水女子大学でコミュニティ保育資源の活用を担当するなど、幼老統合ケアや世代間交流の第一人者。

13:20 講演1 「高齢者・障がい者のケアをデザインする」

真のニーズを洞察し、生活の質を向上させるケアデザインとは

綿 祐二 (日本福祉大学 福祉経営学部 教授 / 社会福祉法人 睦月会 理事長 / アクティビティディレクター 講師)



綿 祐二氏

日本福祉大学 教授として後進の指導にあたるかたわら、社会福祉法人の理事長として複数の福祉施設を運営。厚生労働省の委員なども歴任。

14:20 講演2 「個別性を重視したアクティビティ・ケア」

ご利用者の個性を尊重し、人生をいきいきと輝かせるために

小山朝子 (介護ジャーナリスト / 介護福祉士 / 高齢者アクティビティ開発センター 評議員)



小山朝子氏

20代から9年8ヶ月、洋画家の祖母を介護した経験をもとに、当事者・ジャーナリスト・介護職の視点から講演や執筆、テレビ出演などを行う。

15:20 実践報告 「アクティビティ・ケア活動実践報告」

「自分らしさ」を活かした アクティビティ・ケアの導入

松田千明 (介護老人保健施設 ハート五橋 理学療法士)

スタッフとご利用者さんそれぞれの特技をうまく活かしたアクティビティ・ケアを提供する松田さん。リハ職という立場に留まらず、広く周囲を巻き込んで展開するアクティビティ導入法をご報告いただきます。



味わいからも楽しむ 映画鑑賞アクティビティ

鏡 勉 (特別養護老人ホーム 信愛の園 施設長)

古き良き時代の洋画の上映とともに、その映画に登場するワインやチーズを提供するなど、味覚でも楽しむ工夫をされている鏡さんに、本物であることを重視したアクティビティのポイントをうかがいます。



多方面から求められる 園芸療法

毛利ユカ (いばらき園芸療法研究会 会長)

医療福祉施設や教育機関にて園芸療法の普及・指導・人材養成に携わっている毛利さんから、ご利用者、スタッフ、施設の周りの地域など、みんなに求められる園芸療法の事例を学びます。



〈指定討論者〉 小山朝子 (介護ジャーナリスト / 介護福祉士 / 高齢者アクティビティ開発センター 評議員)
柏木美和子 (アクティビティ コンサルタント)

〈コーディネーター〉 佐野美恵子 (アクティビティディレクター 講師 / 美容福祉師)

17:30 交流会 実践者と研究者が全国から集まります。地域や職種を超えて情報交換しましょう。

〈会場〉 立教大学・第一食堂2階「藤だな」 〈参加費〉 3,500円 〈定員〉 60名



10:00 分科会「**アクティビティ・ケア研究交流&実践講座**」

オリジナリティあふれるアクティビティの研究交流と実践講座を、分科会形式で行います。アクティビティ ディレクターの魅力ある実践に、専門家や研究者のアドバイスを交え、発表者と参加者が共にアクティビティ・ケアのスキルを磨きます。

※第1部、第2部それぞれ第2希望まで選んでお申し込みください。申込み先着順にて参加分科会を決定し、参加票にてご案内します。

第1部 研究交流会

① **リハビリの専門職と考える
アクティビティプログラム研究会**

〈実践者〉 川辺大樹 (医療法人太平洋記念みなみ病院/理学療法士/認定訪問療法士)
宮下綾子 (アクティビティインストラクター/介護老人保健施設老健たいよう/作業療法士)
〈座長〉 桂 裕二 (老健たいよう 次長 作業療法士/高齢者アクティビティ開発センター 評議員)
〈助言者〉 松田 均 (作業療法士/高齢者アクティビティ開発センター 評議員)

② **「自分で食べるよろこび」
食の環境と文化を考える研究会**

〈実践者〉 大沢和義 (アクティビティインストラクター/てまるプロジェクト 代表)
小田理恵 (アクティビティディレクター/村上市社会福祉協議会 瀬波すみれ荘センター長)
〈座長〉 新田淳子 (アクティビティディレクター講師/作業療法士)
〈助言者〉 正岡慧子 (薬膳研究家/高齢者アクティビティ開発センター 評議員)

③ **ケアの実践者と共に
障害者のアクティビティを考える研究会**

〈実践者〉 鷺田敦子 (アクティビティディレクター/社会福祉法人 若竹会)
保坂 恵 (アクティビティディレクター/社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会介護福祉士・保育士)
保立 剛 (アクティビティインストラクター/陶芸家/陶芸教室アトリエ陶房主人 主催)
〈座長〉 深田耕一郎 (立教大学 社会学部 社会学科 助教/高齢者アクティビティ開発センター 評議員)
〈助言者〉 馬場 清 (高齢者アクティビティ開発センター 主任研究員)

④ **心をつなぎ、地域をつなぐ
世代間交流研究会**

〈実践者〉 吉本 洋 (アクティビティディレクター/グリーンヒルみふね 施設長/認知症介護指導者)
高橋克佳 (アクティビティディレクター講師/NPO法人認知症ケア研究所 統括管理者/看護師)
〈座長〉 多田千尋 (高齢者アクティビティ開発センター 代表)
〈助言者〉 森田真希 (NPO法人地域の寄り合い所 また明日 代表/高齢者アクティビティ開発センター 評議員)

⑤ **プロに学ぶ心地よい整容のポイント
美容アクティビティ研究会**

〈実践者〉 引田雄一郎 (アクティビティディレクター/訪問福祉美容KELLY 代表)
庄子 泉 (アクティビティディレクター/美容福祉師)
山下玲子 (アクティビティインストラクター)
西尾栄次 (アクティビティインストラクター)
〈座長〉 佐野美恵子 (アクティビティディレクター講師/美容福祉師)
〈助言者〉 岩井ますみ (イリデセンス 主宰/高齢者アクティビティ開発センター 評議員)



12:00 **昼食休憩** (ご持参された昼食は会場でお召上がりいただけます)

13:10 **第2部 アクティビティ実践**

⑥ **介護予防もつながる
「音楽アクティビティ」と「むかしあそび」**

〈実践者〉 田村洋子 (アクティビティディレクター/NPO法人日本わらべうた協会 理事長)
高田昌樹 (アクティビティディレクター/おもちゃコンサルタント)
〈座長〉 山下一郎 (アクティビティディレクター/豊田マネジメント研究所 エグゼクティブ・トレーナー)
〈助言者〉 深井真理子 (アクティビティディレクター講師/音楽療法士)

⑨ **「長息は長生き」
心と身体を活性化する運動アクティビティ**

〈実践者〉 齊藤日出雄 (特別養護老人ホーム ケアポートみまき 副施設長)
浅野清心 ((株)ノーザンライツ・コーポレーション 取締役/NPO法人日本健康運動指導士会 理事)
〈座長〉 小平有紀 (アクティビティディレクター/ナチュラルセラピーインテグレート 代表)
〈助言者〉 安田加代子 (アクティビティディレクター/歯科衛生士)

⑦ **自然に触れ、五感を刺激する
園芸アクティビティ**

〈実践者〉 清水俊英 (アクティビティディレクター/サカタのタネ)
朝田千香子 (アクティビティインストラクター/兵庫県認定園芸療法士/いはらき園芸療法研究会)
〈座長〉 木崎美江 (アクティビティディレクター/特別養護老人ホームさくら苑 看護師)
〈助言者〉 川瀬弓子 (アクティビティディレクター講師/医療法人社団川瀬神経内科クリニック 事務長)

⑩ **雅なアクティビティ・Toy「投扇興」体験と
ご利用者と一緒のできる遊具作り**

〈実践者〉 川瀬勝久 (投扇興夕霧の会/おもちゃコンサルタント)
宮地和広 (アクティビティディレクター/介護福祉士)
〈座長〉 磯 忍 (高齢者アクティビティ開発センター 主任研究員)
〈助言者〉 鷺田孝保 (高齢者アクティビティ開発センター 顧問/作業療法士)

⑧ **楽しみながらアイデアが広がる
手芸アクティビティ**

〈実践者〉 橋本祥子 (アクティビティディレクター/特別養護老人ホームさくら苑 介護福祉士)
山口裕美子 (アクティビティディレクター/障がい者施設八王子福祉園 非常勤講師)
〈座長〉 菊池貴美江 (高齢者アクティビティ開発センター 主任研究員)
〈助言者〉 長瀬敦子 (高齢者アート研究会 代表/高齢者アクティビティ開発センター 評議員)



15:20 **クロージングトーク「アクティビティ・ケアの実現に向けて」**

〈コーディネーター〉 多田千尋 (高齢者アクティビティ開発センター 代表)

15:50 **閉会あいさつ** 磯 忍 (高齢者アクティビティ開発センター 主任研究員)

アクティビティ・ケアグッズ展示

■人をむすぶ器「てまる」

使い勝手を考えた福祉食器でありながら、機能性だけにとらわれず、より幸福に、より楽しく食事をするために、一個の器として美しく上質な日常品であることを基本概念として開発された食器「てまる」。



グッドデザイン賞にも選ばれた「てまる」の器が、今年も岩手からやってきます。

■キッチンベジ®タネまきはじめてセット

タネとプランターとタネまき用土に元肥、栽培パンフレットがセットになっている栽培セットです。園芸用品をお持ちでない方も、タネまきはじめての方もお手軽に栽培と収穫が楽しめます。

ご家庭や施設のベランダなどで、菜園生活をはじめましょう！

【サイズ】鉢：31.5×14.5×13cm

(容量3.2L)



■福祉文化関連書籍展示

高齢者アクティビティ開発センターでは、具体的なアクティビティの進め方から、実践的なプログラムの企画法、計画法、評価の方法など、介護の現場で役立つ実践書を多数発行しています。

会場にてこれらのアクティビティ・ケア関連書籍をお手に取ってご覧いただけます。



■高齢者遊具100選

リハビリや介護予防にもつながり、コミュニケーションにも最適な、大人が遊んで楽しいおもちゃをアクティビティ・トイと呼んでいます。高齢者アクティビティ開発センターではお年寄りの生活を豊かにするアクティビティ・トイを「高齢者遊具100選」として選定。会場ではこれらを実際に手に取ってお試しください。



お申し込み方法

①申込書の記入

【パソコン・スマートフォンから申し込み】

高齢者アクティビティ開発センターWEB (<http://www.aptycare.com>) の「実践フォーラム」のページ(右のQRコードからもアクセスできます)の「参加申込フォーム」に必要事項を入力してください。

【FAXまたは郵送にて申し込み】

下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXか郵便でお送りください。

高齢者アクティビティ開発センター 〒165-0026 東京都中野区新井2-12-10 / FAX 03-3228-0699

②参加費・受講料のご入金

郵便局に備え付けの青色の払込取扱票に必要事項を記入し、参加費をご入金ください。

番号：00110-8-82521 加入者名：芸術教育研究所 通信欄：アクティビティ・ケア実践フォーラム参加

③申込書とご入金の両方が事務局で確認できた時点で、参加確定となります。

2月中旬より詳細な参加案内をお送りいたしますのでご確認ください。



■注意事項

- *ご入金にあたっての手数料等はご負担ください。
- *納入された参加費は、理由を問わず払い戻しはいたしません。代わりの方にご参加いただくことは可能です。
- *ご記入いただいた個人情報等は第三者に提供いたしません。

第6回 アクティビティ・ケア実践フォーラム 参加申込書

氏名		勤務先・学校名	
職種(該当に○) 1.介護職員 2.介護福祉士 3.ケアマネジャー 4.作業療法士 5.理学療法士 6.看護師 7.生活相談員・生活支援員 8.ホームヘルパー 9.施設長・施設責任者 10.ボランティア 11.その他 ()		業種(該当に○) 1.特別養護老人ホーム 2.有料老人ホーム 3.介護老人保健施設 4.グループホーム 5.在宅介護 6.デイサービスセンター 7.デイケアセンター 8.病院 9.障がい者施設 10.その他 ()	
ご連絡先(該当に○) 自宅 ・ 勤務先		電話番号	E-mail
ご連絡先住所 〒		都	道府県
該当に○	参加区分	当センター会員・アクティビティインストラクター・アクティビティディレクター () 期) ・ 学生 ・ 一般	
	参加する日	2日間通して参加 ・ 1日目(3月26日(土))のみ参加 ・ 2日目(3月27日(日))のみ参加	
	交流会(1日目)	参加する ・ 参加しない	参加費合計(フォーラム参加費+交流会参加費) 円
2日目に参加される方は分科会の参加希望番号に○をつけてください		第1部 第1希望(① ・ ② ・ ③ ・ ④ ・ ⑤)	第2希望(① ・ ② ・ ③ ・ ④ ・ ⑤)
		第2部 第1希望(⑥ ・ ⑦ ・ ⑧ ・ ⑨ ・ ⑩)	第2希望(⑥ ・ ⑦ ・ ⑧ ・ ⑨ ・ ⑩)

※分科会の参加希望欄に○がない場合は、事務局で決めさせていただきます

申込書はコピーして、お1人1枚ご記入ください